

第2回島田市都市計画マスタープラン等

まちづくり市民会議

議事録

◆日時：平成30年8月6日（月）19:00～21:00

◆場所：島田市役所会議棟大会議室

◆出席者：

○まちづくり市民会議委員（15人）

区分	氏名	職業等（所属）	備考
公募	権田真知子	自営業（ヨガインストラクター）	
	荒井浩介	会社代表（(株)荒井建築計画事務所）	
	戸塚康之	会社役員（(有)アスカエンジニアリング）	
団体推薦	佐久間章次	島田商工会議所	会長
	木村恭輔	島田青年会議所	欠席
	鶴川忠章	島田市社会福祉協議会	
	新間康博	島田市自治会連合会	副会長
	太田拓男	島田市自治会連合会	
その他	北川有香	男女協働参画啓発推進委員	
	田代紗莉依	静岡県立大学 薬学部	
	鈴木悠	静岡福祉大学 社会福祉学部	
市職員	堀崎大二郎	地域生活部 協働推進課	
	北川未奈子	行政経営部 人事課	
	安達佑美	教育部 社会教育課	
	杉浦元紀	支所 川根地域総合課	

（事務局）：都市政策課 大畑課長、平松課長補佐、大池係長
中野主査、田村主任技師、遠藤主査

（事務局補助）：株式会社オオバ名古屋支店 小柳、丸山、竹内

◆会議次第

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 事務局説明
4. 議題
 - (1) 前回の振り返り及び資料説明
 - (2) グループ討議
 - (3) グループ発表
5. その他
6. 閉会

◆配布資料

- スライド資料
- 未来ノート
- ワークシート

◆議事録

【1. 開会】

(事務局)

皆様、こんばんは。ただいまから、「第2回まちづくり市民会議」を開催いたします。本日は3つのグループに分かれてお座りいただいています。戸塚委員については、10分程度遅れるとのご連絡をいただいておりますので、後程参加していただきたいと思います。それでは、はじめに佐久間会長より一言ご挨拶をお願いいたします。

【2. 会長あいさつ】

(会長)

皆様、こんばんは。会長を引き受けさせていただきました、佐久間です。よろしくお願いたします。今回から計画づくりに向けた具体的な作業が始まるとのことですが、10年先、20年先のことを考えたまちづくりを考えていければと思います。

先程テレビを見ていましたら、73年前の今日は広島に原爆が落ちた日で、平和や何気ない毎日の貴重な日々が大切だということを思いながら、一方で台風13号が接近している。ここ最近の日本は、地震があったり、豪雨により甚大な被害が出ていたりしています。また、世界情勢も核や貿易摩擦ですごいことになっています。10年後20年後先の未来はどのようなになるのか、今回の計画の中でどのように取り入れられていくのかわかりませんが、みなさんと考えていきたいと思います。約二年間、よろしくお願いたします。

【3. 事務局説明】

(事務局)

それでは、事務局より今後の市民会議の進め方等について説明させていただきます。

(資料説明)

以上で、事務局からの説明を終わります。グループワークの後に質疑の時間を設けますので、ご質問等がございましたらその時にお受けいたします。よろしくお願いたします。

【4. 議題説明】

(事務局)

それでは、議題の方へ入らせていただきます。ここからの進行については、榎オオバさんの方から進めていただきます。よろしくお願いたします。

〔議題（1）. 前回の振り返り及び資料説明〕

(榎オオバ)

(前回の振り返り及び本日の進め方について、資料説明)

〔議題（2）. グループ討議〕

(榎オオバ)

(グループワークの進め方について、説明)

〔議題（３）．グループ発表〕

(株オオバ)

(グループワークの結果を発表)

【Aグループ】

- ・ファミリー世代が自然豊かな土地で自然を楽しみながら会社の人間関係に捉われず、自分の時間を有効に使って仕事ができるようにサテライトオフィスやシェアオフィスなどがあれば良いと思います。
- ・全市民・観光客が、蓬莱橋を中心とした大井川沿いで、水が豊かに流れていて、集まりやすく行きたくなる素敵な飲食店も多い場所なので、大きな川の流れに感動し、癒され、歴史を感じながらゆっくり時間を過ごせる場所があれば良いと思います。
- ・高齢者や福祉的ニーズを持つ人が住み慣れたまち島田市で、高齢化率が上昇により、福祉的なニーズが高まり、医療に関心が集まると思うため、予防医学やトレーニングの充実、予防的な福祉、訪問介護や訪問看護などの訪問サービスの充実、地域全体で支えていくサービスの充実も必要かと思う。そのために、20年後には、医療施設が少なくても健康的なまち、高齢者や福祉的なニーズを持っている人が活躍できるまちになると良いと思います。
- ・若者から高齢者まで、会社または家など場所を問わず、稼ぐ。すなわち、情報や技術、その他色々活用して効率的に働くことができる20年後になると良いと思います。
- ・島田に住む人、働く人、外から訪れる人にとって住みやすく健康的な生活を送るために快適で健康的に仕事をするために、情報化社会が激震する世の中で癒しを求める人たちのために、心を満たすために、健康に生きるために、それが医療費削減に繋がるかもしれないため、島田の豊かな自然を大切に出来る未来になれば良いと思います。

【Bグループ】

- ・地域住民や既存の自治会などのコミュニティが既存の枠だけでなく、テーマごとにオンラインで繋がっているコミュニティになればいいと思います。現代では、ネットワーク型コミュニティという言い方をしていますが、オフラインの繋がりがかなり薄れている世の中になっていると思います。そのため、一度オンラインでコミュニティを作り直し、それをまたオフラインでリアルなコミュニティへと繋がっていくような環境を20年後には作りたいと思います。
- ・20年後の平日昼間に育児休暇中の父親が、仕事中の母親に代わりに子育てのためのパパ友たちと一緒に茶畑に囲まれた近所の公園で子ども達とめいっぱい遊ぶことが出来ると思います。仕事柄子育ての講座をいくつか開催していますが、どうしても母親ばかりが参加しており、父親の参加は平日の夜間になってしまっています。土日に開催しても参加者は母親中心になっています。島田市に限らず、父親の育児参加が当たり前になればいいと思います。また、島田の茶畑は20年後もずっとあり続けて欲しいと思います。

- ・高齢者が病院に行かなくても、診察が受けられる環境になっているといいと思います。なかなか病院に行くことができないなど、行くことが大変な方が多いのに、病院から先生が来て往診してもらえる環境が整っていない為、誰でも、どんな人でも往診やインターネットを利用した診察を受けられるようになればいいと思います。
- ・山間地域という島田市の土地を活かし、AI や IOT が進む自給自足をする若者が増え、心の充実やお金だけに頼らない生活を求めている人が増えている 20 年後になっているといいと思います。観光産業が増えてきているので、遊びに来た他県の方が移住したり、農地を借りて休日に野菜を栽培・収穫しにくるなど、島田を訪れる人が増えると良いと思いました。
- ・不備なく快適に暮らすことができるように、景観産業の確立を図りながら地域毎の特性を活かした景観が形成されている社会が良いと思います。景観産業という言葉を入れたのは、景観の補填を行っていくためには、やはり維持管理の仕組みが確立されていないといけないという思いからです。
- ・自動運転やドローン、自分で運転できる飛行機などの新たな移動手段によって誰もが時間や場所に縛られず、電車やバスの発車時刻、駅、バス停など現代では当たり前になっているものが全てなくなり、行きたいところに行ける未来になれば良いと思いました。これによって、駅前＝人が集まるという概念も変わるのではないかと思います。

【Cグループ】

- ・20 年後には島田市で働く人が高収入を求め、地元の優良企業に勤め、お金のかからない子育てをして豊かに生活ができればいいと思います。また、観光客については、この島田市を訪れてもらうために、普段の生活では感じる事の出来ない刺激が得られるような、体験施設があればいいと思います。
- ・子育て世代が島田に住み続けるためには、企業を誘致し働く場所が増えていけばよいと思います。将来は日本人だけでなく、外国の方も増えると思いますので、グローバル企業も増えていけばよいと思います。
- ・20 年後の島田市が栄えていくためには、財源の確保と人口の確保が重要だと思います。その一つとして、ファミリー層に増えてもらうために、子育て費用が少なく済むまちにすべきだと思います。もう一つは高齢者が生きがいを持って生活するために、税金が安く、楽しめる場所が充実しているまちを目指すべきだと思います。
- ・島田に住む子ども達や学生が将来も島田市に住みたいと思うような印象を持ってもらうために、多くの商業施設、自然、遊び場を設けるのが良いと思います。島田に限らずですが、都会に行きたい、静岡を離れたいという思いを持つ友人が多くおり、その多くが島田市にしかない自然や遊び場に気付かずに、何もないという印象を持っているからだと思います。そのような印象を払拭させ、学生のうちにここは良い場所なんだという印象を持ってもらえるようなまちになればいいと思いました。

- ・20年後の島田市では、大学を誘致し教育の充実を図るとともに、市外の若者を取り込めればいいのではないかと思いました。大学が島田市に出来れば、そこには市内外から学生が集まり、そこには賑わいが生まれます。この賑わいを活かした産業が生まれれば経済効果に繋がります。また、市外から来てくれた学生が島田市に定住してくれたら人口減少対策の一環となるのではないかと想像しました。

(株オオバ)

皆さん、ありがとうございました。未来の島田市について考えていただき、最後にはそれぞれのグループの意見を聞いて、改めて思い描いた部分もあるかと思えます。これを積み重ねていき、4回目には島田市の将来像を形づくっていきたいと思えます。次回は、今回いただいたご意見を踏まえて、皆さんが思い描いた将来像を共有した上で、その将来像を実現していくためには、どうすればよいかということを考えていければと思います。

【5. その他】

(事務局)

ありがとうございました。それでは、冒頭に事務局からご説明した内容について、ご質問、ご要望等がございましたらお聞きしたいと思います。いかがでしょうか。

(委員)

- ・本日の市民会議は2時間ほどやらせていただきましたが、やはり2時間では議論する時間が短いと感じました。せめて15分～30分程度早めに開催できればと思います。

(事務局)

ありがとうございます。ただいま開催時間が短いというご意見をいただきましたが、もし委員の皆様のご都合がよろしければ、事務局としましては、次回以降18時30分からの開催としたいと思います。時間については、委員の皆様のご意見をお伺いして決めていきたいと思えます。

(委員)

- ・今回を含めて4回で将来の都市像をテーマとして市民会議の場を設けていただき、入念に検討していくということについては賛同していますが、前回のマスタープランを拝見させていただいたところ、都市構造図が曖昧という印象を持ちました。今回はそこを変えて、もう少し具体的な都市の姿が分かるようにしていければと思います。実現に向けた分野別の方向性などを考えていくときに、目で見ると具体的な姿が分かるようなものがあつた方が実現に向かっているような気がするため、どの分野でも構わないのもう少し具体的な、例えばイラストだったり、ジオラマだったり、模型だったりなどが活用することを提案します。

(委員)

- ・今のご意見をとても重要だと思います。今は自分達が大学生以上で構成されていますが20年後には今の中学生や高校生の人たちがメインになってきます。中学生にもわかるよ

うな形で概要版でもいいと思うので、ビジュアルも交えたものを最終的には作った方が
良いのではないかと思います。

(事務局)

ありがとうございます。まず1点目について、都市計画マスタープランという法律上決
められた計画書の中で、都市構造図というのはどうしても決まりきったものになってしま
います。そのため、ご意見いただいたような未来予想図のようなものにはならないかもし
れませんが、もう少し事務局内で調整しながら、今の子ども達が見ても将来のまちの姿が
わかるような計画書にしていきたいと考えています。

2点目について、模型やジオラマをつくるには、方向性が出ていないため、今すぐには
難しいですが、今後の都市の将来像や分野別の方向性が固まった段階で、具体的な検討が
できるよう相談しながら検討していければと思います。

【6. 閉会】

(事務局)

それでは以上を持ちまして第2回まちづくり市民会議を閉会させていただきます。皆様、
長時間にわたりどうもありがとうございました。

以 上